

令和４年度 三浦市総合計画審議会（第１分科会） 議事録

- 【日 時】 令和４年７月１５日（金）１４：００～１６：００
- 【場 所】 三浦市役所第２分館第１会合室
- 【出席者】 笠小友和委員、草川晴夫委員、小林義雄委員、坂齊素彦委員、鈴木清委員、鈴木金太郎委員、出口眞琴委員、長島満理子委員
- 【関係職員】 鷺阪海業水産課長、下里農産課長、齊藤もてなし課長、吉沢財産管理課長、小林市長室特定事業推進担当課長兼経済部もてなし課観光営業担当課長、盛永市長室特定事業計画担当課長、古川下水道課長、星野副市長、木村政策部長、矢尾板政策課長、三橋政策課ＧＬ

【次 第】

- １ 開 会
- ２ 議 題
 - （１）座長の選出
 - （２）三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について
 - （３）会議録の公表手続きについて
 - （４）その他
- ３ 閉 会

【議事録】

１ 開 会

事務局（木村政策部長）

- ただいまより、三浦市総合計画審議会第１分科会を開催する。

２ 議 題

（１）座長の選出

事務局（木村政策部長）

- 昨年度、座長を務められた岡本委員が退任したので、今年度の座長を選出する。選出方法については、事務局より案をお願いする。

事務局（矢尾板政策課長）

- 分科会の座長については、事務局からの推薦が慣例であるので、昨年度の座長の後任にあたる小林委員を座長に推薦する。

事務局（木村政策部長）

- 事務局からの提案があった小林委員を座長に推薦することよろしいか。

一同

- 了承

事務局（木村政策部長）

- それでは、小林委員に座長をお願いします。
- 分科会を開催するにあたり、小林座長より一言ごあいさつをお願いする。

小林座長

- 令和3年度の総合計画の外部評価について、皆さまと一緒に活発な議論を進めていきたいと思うので、ご協力をお願いします。

事務局（木村政策部長）

- これ以降は、座長の進行をお願いします。

（２）三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について

小林座長

- それでは、議題2の外部評価のうち、三浦みらい創生プラン（総合戦略）の重点施策の外部評価について、事務局より説明をお願いします。

事務局より、外部評価について説明（説明略）

小林座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。なければ、実際に評価を進めていく。
- 評価については、説明する担当課の関係上、施策No.3-1、3-2、3-3、1、2、13の順で進める。
- 本評価は、市民を代表して市の施策について評価するものである。今後の三浦市の発展に向けて、是非忌憚のない意見をお願いします。
- ではまず施策No.3-1について、説明をお願いします。

鷺阪海業水産課長より施策No.3-1「水産業・農業・商工サービス業の振興（水産業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

出口委員

- コロナの影響が様々なところに出ていると思う。市場高度衛生管理化対策事業に関して設備が整ってきたと思うが、並べるもの（まぐろ）についての状況はどうか。

鷺阪海業水産課長

- コロナの影響等で、外国人船員の確保が厳しい状況にあるため、漁船の隻数が減少し、まぐろの量は減っている。水揚げ（出）港船対策事業等で、三崎へのマグロの

水揚げを増やせるよう努めている。

出口委員

- ロシアのウクライナ侵攻等で燃料費の高騰など影響も出ているが、今後の見通しについてはいかがか。

鷺阪海業水産課長

- 関係者の話を伺うと、今後の見通しについては、人によってその見立ては様々であり、現在の状況についても、魚価が上昇しているため、燃油の高騰があっても漁に出ることができているという話もある。
- 先行きは不透明で、円安の影響もある。様々な要因があり、見通しが難しい。情報を集めて、注視する必要があると感じている。

出口委員

- 今後の先行きは不透明さがあるため、慎重さが必要と思う。

鈴木金太郎委員

- 漁船の誘致以前に、いかに三崎の低温卸売市場が良くなって、買いやすい市場であることを周知し、そこで需要があれば、取引は増える。金融機関、行政を通じて、宣伝し、三崎市場が買いやすい市場であることをアピールできれば良い。

鈴木清委員

- かつお船についてであるが、今季、漁場が近くて、伊豆七島の周辺でのかつおの一本釣りが大漁であったが、水揚げの大半は、銚子等の他県に行くようなものであった。餌の購入は三浦であったが、船の関係者からは、三浦で餌、燃料、水揚げまで三浦でできれば経費削減になると意見があった。まぐろと平行して、かつお船についても呼び込むことができれば良い。三浦には加工場がないことを話したが、水揚げ後は、陸路でも経費削減になるとの話を受けた。市をあげて、そのような取組をしていただきたい。

草川委員

- 事務局への質問であるが、資料5の施策シートの数値目標には、実績値は入らないのか。

事務局（三橋政策課GL）

- 令和3年度から後期計画の区分となったため、令和3年度から新たに、実績値の記載を行わせていただく。

草川委員

- 去年の11月に、黒潮キンメがかながわブランドになったが、船の数を増やして、キンメに力を入れることはできないのか。

鈴木金太郎委員

- 昔は、地元の漁師が近くでキンメを獲っていたが、今は近くで獲ることが少なくなっている。

鈴木清委員

- 燃料、資材の高騰で経費面の厳しさがある。また、1都3県の枠組みの中で、縛りがある。

事務局（星野副市長）

- 日本全国で、各魚種による1年間の漁獲量が決まっている。他で獲れれば、その分の量が獲れなくなる。国全体として大きな問題となっている。

長島委員

- 市場高度衛生管理化対策事業などは成果に値するものと考えている。今後、市場への集約や魚のブランド化が課題と認識しているが、今後の取組はいかがか。

鷺阪海業水産課長

- ブランド化を進める具体的な魚種については、今のところ決まっていはいないが、先ほど、鈴木委員から「需要があれば」とのご意見をいただいたところだが、三崎黒潮キンメが昨年11月にかながわブランドに登録されたばかりであり、まずは、キンメの需要を高める取組みに注力していきたい。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

小林座長

- 次に施策No.3-2について、説明をお願いします。

下里農産課長より施策No.3-2「水産業・農業・商工サービス業の振興（農業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

長島委員

- 有害鳥獣被害について、捕獲数は減っているが、被害額の状況はいかがか。

下里農産課長

- 神奈川県で発表している数字によると、前年度より被害額も減少している。

長島委員

- 捕獲数が減っていれば、被害額も減るという状況はあるか。

下里農産課長

- 捕獲数が被害額に直結するという訳ではない。

長島委員

- 販路拡大についてだが、野菜は輸出が難しいという課題があったと思うが、今後の取組は生野菜で行っていくのか。

下里農産課長

- 現状、国土交通省と農林水産省で行っている試験では、生野菜である。三浦野菜は、生鮮用として生野菜がメインであるが、今後を踏まえると、販路拡大と新しい商品として加工品は増やしていく必要があると考える。加工品ができあがることで新たな販路に繋がる。加工品によって、もっと遠くに、もっと多くを運ぶことができる。三浦市農業協同組合を指導していきながら、新たな事業への取組について継続して働きかけを行う。

長島委員

- 取組を進めるものとして、三浦市のどのような野菜を挙げているのか。

下里農産課長

- ここ数年、新品種としてブランド化を目指すものとして、たまねぎ、じゃがいも、にんじんがある。セロリや冬至に向けたかぼちゃも試作を行ったが、昨年、天候が芳しくなく、生育が良くなかった。

長島委員

- そのようなものも、輸出していくのか。

下里農産課長

- ゆくゆくは、そのようにならないと、三浦の大根、キャベツ、スイカ、かぼちゃだけでは、限度があるため、新たな目玉商品を作り上げて、輸出の販路に乗せ、また加工品原料として使い、耕作面積を増やし、収穫量を増やしていく努力が必要と考えている。

草川委員

- キャベツの販売実績が大きくマイナスであった理由はあるか。

下里農産課長

- 千葉の北側や茨城等の他産地が、温暖化によって、春キャベツが作れるようになってきた。三浦の春キャベツの優位性が落ちてしまい、市場価格が上がらなかった。

出口委員

- KPI の分析の中で、通信販売の実績が伸びている。今後も伸ばせる販路と思うが、考えはいかがか。

下里農産課長

- おっしゃる通りで、三浦市農協の営農部で取り組んでいるが、非常に活気があり、担当者も増やしていく考えである。市場への売り込みも継続しながら、新たな販路

は伸ばしていく。加工品の受注も増えていると聞いているため、農協を支援していく。

出口委員

- 通販は、品質の良いものを購入したいというニーズに応えられるようにしていただきたい。

下里農産課長

- 基本的には、朝採りのものを送るようにしている。1～2日で購入者に届くよう、農協で頑張ってもらっている。

出口委員

- 輸出に関して、以前、台湾へ輸出したときに、いくつか課題が出たと思う。輸送に関してであったか。

下里農産課長

- コンテナの温度管理が上手くできず、野菜が腐ってしまった。その後、農協でも、数量を減らし、長持ちする野菜を出していたが、昨年あたりから航空会社の働き掛けでキャベツを北海道まで運ぶようになり、機内食、ラウンジで三浦野菜を使用するなど、新たな販路として動き出したものがある。鉄道事業、航空事業、様々なものを利用しながら、取り組んでいく必要がある。
- 清水港を使ったコールドチェーンの新しい試みが使えれば、インドネシア、マレーシアまで輸出ができる。川上村のレタス、静岡のイチゴが実際に輸出され、高値で売れている。有効に活用していきたい。

出口委員

- 送料も含めてであるが、海外では高値での取引がされている。輸出できる手段が取れば、良い流通になると思うので、努力をお願いしたい。

下里農産課長

- 承知した。

笠小委員

- ふるさと納税の返礼品では、野菜以外の加工品は増えてきているのか。

下里農産課長

- 令和3年度から令和4年度にかけて、農作物、農業加工品が徐々に増えてきている。三浦市観光協会において、積極的に活動していただいている。今年度も新たな若い農家が登録をして、生野菜も加工品もやっている。ご指摘のとおり、増えてきている状況である。

笠小委員

- たくあんの加工など、品質管理の関係で辞めてしまうのではということを聞いたが、市役所の方で補助等はあるのか。

下里農産課長

- 昨年の6月1日に食品衛生法の一部改正があった。今まで届け出制で良かったものが、許可制になり、厳格化している。三浦市で昔から行っている漬物の製造環境が当てはまらなくなるような改正が行われた。法に適用しようとするとお金がかかってしまう。今までは農作業小屋の一角での作業や、三浦海岸で天日干しも風物詩になっていたが、そういったものも全部駄目になってしまう。このままでは、伝統加工品がなくなってしまうことについて、神奈川県を担当と昨年から継続して協議を行い、制度の緩和をお願いしている。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。
-

小林座長

- 次に施策No.3-3について、説明をお願いします。

齊藤もてなし課長より施策No.3-3「水産業・農業・商工サービス業の振興（商工サービス業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。
- なければ、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。
-

小林座長

- 次に施策No.1について、説明をお願いします。

齊藤もてなし課長より施策No.1「農業、漁業、観光業の連携による観光振興」につ

いて資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

出口委員

- 観光解説板整備事業の取組にあるように、観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長が謳われているが、ここ数年、コロナの影響で宿泊ができる施設が減っていると思う。滞在時間延長のためには、宿泊していただくというのが必要だと思うが、今後の宿泊施設の見通しはどうか。

小林市長室特定事業推進課長兼経済部もてなし課観光営業担当課長

- 具体的に動いているものとしては、城ヶ島西部地区の城ヶ島京急ホテルの建替である。令和6年度開業ということで、昨年5月、京浜急行㈱からもプレスリリースがあったとおり、ヒューリック㈱と京浜急行㈱で開業に向けた検討を進めていただいている。市としても開業に必要な支援を十分に行い、この目標を達成したい。今回整備される宿泊施設については、高級路線と聞いている。今までに三浦市にきていない層の誘客が可能となるため、その後のブランディング等についても皆さんと協力しながら進めていきたい。

出口委員

- コロナ禍でイベントも中止になっているが、コロナが収束していけば、イベント等も開催して、多くの人に来てくれ、滞在時間ができるだけ長くなれば消費も増えていく。宿泊施設等に関しても、三浦に泊まっていただくというのを基本に組み立てていかないと、もったいない。三浦で泊まって帰るという形を作っていっていただきたい。

草川委員

- 事業費の予算額が令和4年度約4億7,400万と、今までと金額が大きく違うが、今までが事業の準備段階で、令和4年度は事業が実施されるということであるか。

小林市長室特定事業推進課長兼経済部もてなし課観光営業担当課長

- 増加の主な要因は、観光の核づくり推進事業で、昨年度は道路の詳細設計を行った。今年度は、詳細設計に基づいて用地買収を行う。その用地取得の費用がメインとなって、大幅な増額となっている。

坂齊委員

- 入込観光客数数が、コロナ前の状況に戻るのは、いつぐらいと考えているのか。

齊藤もてなし課長

- 非常に難しい質問であるが、商工会議所の調査では、コロナ前に戻るのは難しいのではないかという事業者の声も多くある。今も大きな波が来ているが、施政方針等にもあったとおり、必要に応じた経済対策を実施するとしているため、担当課とし

でも創意工夫を講じて、観光客が戻るような取り組みを行ってまいりたい。

草川委員

- 観光協会としても、観光客を増やすために国の補助金を利用し、様々な施策を行っている。観光客を増やし、三浦市をPRする取組を市と協力して進めていきたいと考えている。

笠小委員

- コロナで今年度は色々なイベントを中止しているが、来年度以降はどのような考え方か。

齊藤もてなし課長

- 基本的にはイベントごとの実行委員会で開催の可否を決定する。その際に、国、県、市の取組方針や本市の基本方針等を参考にして、皆様に協議いただいて開催の可否を決定していく方針である。

笠小委員

- 今までと同じように中止となるケースが多くなるのか。

齊藤もてなし課長

- マラソンを例にとると、様々なマラソン大会がすでに開催されている。出店等の際に視察を行い、どのような感染対策をしているかを注視している。そのような情報を実行委員会に報告し、開催の可否を決定していただく。

事務局（星野副市長）

- イベントを開催するにしても、国から出される対応方針も変更が予想される。密になって食べ物を食べるというイベントの開催が難しい状況である。方針などが具体的に示されるとイベント実施もしやすくなるが、どの程度なら責任持てできるかが、考えるところである。今後、変わってくると思うので、その変化を見ながら対応していきたい。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は達成しているため、「5」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

小林座長

- 次に施策No.2について、説明をお願いします。

小林市長室特定事業推進担当課長兼経済部もてなし課観光営業担当課長より施策

No.2 「経営支援・企業誘致」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。
- なければ、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は達成しているため、「5」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

小林座長

- 次に施策No.13 について、説明をお願いします。

盛永市長室特定事業計画担当課長より施策No.13「中心核交流機能の育成」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

出口委員

- 市民交流拠点整備事業であるが、周辺地域への説明は丁寧に行っていたか、すべて終わっているか。

盛永市長室特定事業計画担当課長

- 今までの造成工事に関しては、周辺地域への説明は行ってきた。今後、事業を進めるにあたっては、周辺地域の説明を改めて行う。

出口委員

- ある程度、今後のことまで話はしているのか。

盛永市長室特定事業計画担当課長

- 造成工事の目的等は、説明している。

事務局（星野副市長）

- 道路をどのように作るか、どのような施設を作るのかの話がないと、具体的な説明ができない。今、その計画を立てるところである。もしかしたら、意見を聞かないとできない部分もあるかもしれない。計画を立てながら、意見を聞いて、対応していく。
- また、県の事業であるが、現在、周辺の国道の電線地中化の工事をしている。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

小林座長

- 次に、議題2の外部評価のうち、地方創生に係る交付金事業の評価について、事務局より説明をお願いします。

事務局より、交付金事業の評価について説明（説明略）

小林座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。なければ、実際に評価を進めていく。
- それでは、資料7について説明をお願いします。

矢尾板政策課長より、資料7について説明（説明略）

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。
- 特段なければ、この事業の外部評価をさせていただく。
- 一部のKPIが目標値に達しなかったが、概ね成果が得られたとしており、地方創生に効果があったため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

（3）会議録の公表手続きについて

小林座長

- 次に、「会議録の公表手続きについて」、事務局より説明をお願いします。

事務局（矢尾板政策課長）

- 本日の審議会以降、審議会を開催する予定がない。そこで、今回の審議会の議事録については、事務局で案を作成して各委員へ配布し、修正すべき点等を指摘いただき、それらを踏まえた修正を行ったうえで、座長一任で議事録を確定し、その後、

ホームページでの公表という手続きで進めさせていただきたい。

- また、議題４ その他についても、事務局からの報告はない。

３ 閉 会

小林座長

- 以上で本日の議題は全て終了した。ここで、事務局に進行を戻す。

事務局（木村政策部長）

- 本日は、出席いただき感謝申し上げます。
- また、貴重な意見をいただき感謝申し上げます。皆さんの貴重な意見を生かし、より良い事業へ見直していきたいと思う。
- 本日は長時間にわたり、ご審議いただき改めて感謝申し上げます。
- 以上をもって、令和４年度三浦市総合計画審議会第１分科会を終了する。